



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ

尾張旭ロータリークラブ

Weekly

・会長 西尾 輝久 ・例会日 毎週金曜日 12:30
・幹事 森 和実 ・例会場 〒488-0801
・会報 福岡 健 尾張旭市東大道町原田 2570-3
・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
E-mail : owariasahi@mte.biglobe.ne.jp
URL : http://www.owariasahi-rc.jp/

本日 第2013回 2012年6月 1日(金) No.1902

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

卓話者:仲澤 昌容 君

ロータリーソング「君が代」・「奉仕の理想」

演 題:「 自己紹介 」

前 回 第2012回 2012年5月25日(金) 記 録

- 齊 唱 : 「四つのテスト」
- 来訪者 : 該当者なし
- 出席者 : 会員30名中22名出席 出席率73.33%
前々回補正出席率は5月11日分90.00%

- 社センター 山田理事出席
- ・本日の会合 : 臨時総会
臨時持ち回り理事会
第5回現・次期クラブ協議会
- ・次回の会合 : 第15回理事役員会
- ・例会変更のお知らせ:別紙

会長あいさつ 西尾 輝久

私の任期も後1ヵ月あまりとなりました最後まで気を抜かずに職務を全うしようと思います。
今日は現在のクラブ計画書の細則を最新のものに変更することと、クラブの内規改正のために臨時総会をおこないます。ロータリーも時代背景やその環境によって必然的に変えなければならない部分が出てきます、十分納得して決議をしてほしいと思います。それではスムーズなる進行をお願いいたします。

ニコボックス

- 本日の卓話、眠くならないようにします。よろしくお願ひします。 伊豆原浩二君
- 本日の伊豆原さんの卓話を楽しみにしています。 加藤 清久君、桜井 雅博君
- 本日、3分間スピーチをさせていただきます。 唐井 仁一君
- あと一ヶ月になりました。最後まで気をぬかずガンバります。もう少しご支援お願いいたします。 西尾 輝久君
- 久しぶりの例会にワクワクしています！ 古橋エツコ君
- 尾張旭たのしい夏まつりへのご協力のお願ひに参りました。どうぞよろしくお願ひいたします。 丹羽 敏行君
- 大嶋一二三君、ようこそ。歓迎します。 福岡 健君
- 先日は、久しぶりにゴルフコンペでキャディバックをもらいましたが、娘に取られてしまいました。 森 和実君
- むし暑い日が多くなりました。体調管理にご

臨時総会

日時 24年5月25日(金) 13:10
場所 例会場
別紙、尾張旭RC内規一部変更

幹事報告

- ・本日の3分間スピーチ : 唐井 仁一君
- ・5/18 地区ロータリー財団委員会 於ガバナ―事務所分室 加藤清久地区グローバル補助金委員出席
- ・5/23 尾張旭市社会福祉協議会理事会 於福

ロータリー親睦活動月間

	6月 8日(金)	6月 15日(金)	6月 23日(土)	6月 29日(金)
例会予定	卓話者:飯田 幸雄君 演 題:「ロータリー あれこれ」	クラブフォーラム 卓話担当者:例会運営委員会 卓話者:加藤 清久君 演 題:「一年を振り返って」	22日(金)振替 夜間例会 於 南風尾張旭店	第6条第一節により 休 会 ビクター受付は 行いません

留意ください。 勝屋 弘忠君
○会長、写真ありがとうございました。
加藤 清久君
○加藤勇夫さん、お世話になりました。
加藤 清久君
○お忙しの君 飯田 幸雄君、松原 樹君

第5回現・次期クラブ協議会報告

日時 2012年5月25日(金) 13:40～
場所 尾張旭市商工会館 第一会議室
議題 1) 今年度の活動報告について。

- ・国際奉仕委員会
WCSで5万円、留学生関連にて残り予算、順調に消化しています。
 - ・社会奉仕委員会
苗木の配布、東北支援等実施してまいりました。
 - ・職業奉仕委員会
「四つのテスト」の唱和、新給食センターの訪問等実施してまいりました。
 - ・新世代奉仕委員会
当初計画の行事を消化、旭野高校関連事業も実施致しました。
 - ・広報、クラブ会報委員会
各報道機関へ広告等実施、苗木配布において、市広報紙に掲載致しました。
また、会報発行において、消耗品代が多額になりましたので、来期は節減に努めるよう手配を致しました。
 - ・会場委員会
食事、一部変更がありましたので、組み合わせ等考えて楽しい食事が出るよう工夫いたしました
- 2) 次期プログラムについて。(桜井副幹事)
資料にもとづいて検討の結果、原案で了承されました。
- 3) 次期予算について。(桜井副幹事)
資料にもとづいて検討の結果、原案で了承されました。
- 4) その他
- ・東北ボランティアの件
資料にもとづいて検討、いまだ、具体性が固まっていないので、早急にワーキンググループを立ち上げ詰めることで了承されました。

卓 話

“都市交通の研究と実務”の45年を振り返って

伊豆原 浩二

今日は私の“都市交通の研究と実務”の45年を振り返ってお話しをしたいと思います。

まず、都市交通の研究への目覚めた大学での11年です。私が志望校への受験に失敗して失望の真最中の大学1年の夏、恩師である渡辺新三先生からブキャナン・レポート(Traffic in Towns)を渡され、これを読んで初めて“都市交通”というものに出会い、この研究に魅せられました。



た。その後、高速道路の料金最適化、道路交通流(交通信号制御の最適化)、自転車交通に関する研究などで都市交通に関する研究の面白さの発見することができたわけです。そして、この大学での多くの良き指導者に恵まれたことが私にとって大きな財産となりました。その後、コンサルタントへの就職を勧められ、都市交通と地域整備に関する実務に従事することになりました。中京都市圏をはじめ各市の総合交通体系調査、名古屋都市高速道路の交通量予測、整備効果に関する調査、名古屋圏における鉄道網整備計画、名古屋市基幹バス等の整備に関する調査、豊田市の総合交通施策に関する調査などの交通に関する仕事、特に基幹バスは今でも走っていますから感慨深いものがあります。また、名古屋東部丘陵地域整備計画、名古屋駅周辺地区総合整備、笹島地区総合整備、金山駅南地区整備などの地域整備計画に関する仕事を数多く手がけました。ここでは“人との交流の大切さ、専門分野の拡大の重要性”を学ぶことが出来ました。また、豊田市の交通政策に関連した仕事は大学時代から続けていたことから、平成7年今度は(財)豊田都市交通研究所に移りました。ここでは、交通社会実験(TDM, MM, ITS)の計画、実施、評価、豊田市の交通モデル都市への支援、自主研究での交通安全、環境負荷の小さい交通の在り方などの実務と研究の両立を目指すことになりました。その役割は、都市交通の新たな施策展開の先達役と若い研究者、実務者の発掘と指導でした。今は多くの職員と研究者を擁した研究所に育っていますから、少しはお役にたつたのではと思っています。その後、平成16年名古屋産業大学に呼ばれ、環境という視点からの研究と教育に励むことにしました。博士1名、修士4名、学部生27名を社会に送り出すことが出来ました。大学では、地域社会との連携、社会貢献の重要性を再認識しました。お手元の資料は昨年瑞鳳小の5,6年生を対象に、交通安全について調査をし、児童と保護者にお渡ししたものです。皆で話し合っ、少しでも事故に気を付けていただけたらと思っています。これからも、こんな研究をして社会のお役にたてるように頑張っていきたいと思う今日この頃です。

